



もっちゃんきひまわりギン

# みはま 議会だより

9月議会  
第3回定例会  
第118号

## CONTENTS【目次】

わが町の決算	2
一般質問 7議員	3
こんな質問がありました	10
委員会視察報告	13

平成26年(2014年)10月25日

# 町の総決算額

## 66億7千万円

第3回定例会は、9月9日から19日まで  
の11日間の会期で開き、主な内容は美浜町  
特定教育・保育施設及び特定地域型保育事  
業の運営に関する基準を定める条例の制定、  
平成26年度一般会計補正予算など報告2件、  
議案13件、平成25年度一般会計、特別会計、  
水道事業会計の決算など認定7件について  
審議を行いました。

なお、一般質問は7議員が行いました。

平成25年度

# わが町の決算

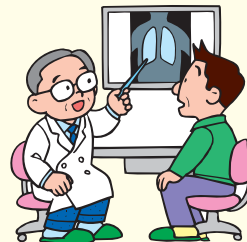
## 一般会計



40億2,600万円

## 特別会計

国民健康保険のお金



11億0,000万円

## 特別会計

和田、入山・上田井の  
下水道のお金



1億100万円

## 特別会計

浜ノ瀬、新浜、吉原、  
田井畑の下水道のお金



2億4,800万円

## 特別会計

介護保険のお金



7億9,700万円

## 特別会計

後期高齢者医療費の  
お金



2億0,000万円

## 水道事業会計

上水道のお金



1億9,900万円





質問

大気汚染は、そんなに深刻か！

答弁 私は、そういった認識はない。



谷口 徹 議員

松林の保護育成

**質問** 当町の誇る松林を長年保護育成されてきた関係各位には、まず敬意を表します。

煙樹ヶ浜再生計画では、過去からの保護育成に対する取り組みや、今後松林をどの様に守っていくかが網羅されている。

この再生計画に対する思いや、取り組みについての考えは。

**町長** 平成22年度は576本の枯れ松が25年は345本に軽減された。

松枯れの要因はマツノザイセンチュウによるものとして理解している。

今後、345本という結果に甘んじることなく、

継続して薬剤散布や松くい虫防除対策を展開する。

**質問** 答弁は、いちいちごもつともな内容と受け止める。

しかし、先日広島大学の中根名誉教授が来町し、大気汚染による松枯れを指摘していたが、当町は松枯れが進行するほど大気汚染が深刻か。

**町長** マツノザイセンチュウが一番大きな要因と認識している。

**質問** 主要施策の成果の中に当町に於ける大気環境監視測定結果年間集計表や、関西電力御坊発電所の煤煙の数値等が掲載されているが、この数字は松枯れを起こすほど深刻な数字か。

**町長** 基準値に対して、一応はクリアできた数値だと認識している。

**質問** 私が聞いているのは、基準値をクリアしたかではない。

松枯れを引き起こすほど深刻かを聞いている。

**町長** 松が枯れるほど大気汚染が進行しているとは思わない。



▲煙樹ヶ浜



▲運動公園モニュメント

**質問** では、なぜ抗議しないのか。

この方々の方を呼んだ日高地域環境研究会はほとんど美浜町に恨みでも有るのか。

「大気汚染がどうの、関西電力がどうのと、根も葉もないことを言わないでくれ」と抗議すべきでは。

**町長** 私は、あくまでマツノザイセンチュウと、この方々には言っている。

この方々に同調もしていないが、抗議はしない。

**質問** 町長は「抗議はしない」との事だが、我々保守系と呼ばれる議員は、この町を貶める、風評被害を助長するような言動は断じて許さない。

あらゆる機会を捉えて、断固戦ってゆく。

## 質問

英語を小学校低学年から導入しては

一般質問

答弁 大事なことであるが・・・



繁田 拓治 議員

### 小・中学校の英語教育

**質問** 小学校で英語が導入されている。担任の多くは不安を持っているといわれるが。

**教育長** 5・6年生で実施しているが、小学校教員免許であり英語教員免許を持っていないので、抵抗を感じている方々も多いのでは。

**質問** 今後5・6年生が行っている内容を3・4年生で行い、5・6年生の内容に読み書きを加え中学校へのよりスムーズな移行を図る計画であるが対策はないが、県のほうでの対策、指示を期待している段階である。

**教育長** 町の対策はしていないが、県のほうでの対策、指示を期待している段階である。



▲中学校ALTの授業

**質問** 最近小学校で英語が導入されてから中学校1年生の聞き取る力が付いてきたといわれるが。

**教育長** 確かに聞き取る力が付いてきているように思う。

**質問** 他府県でも半数近い学校が低学年から英語を導入している。

我が町も取り入れてはどうか。

**教育長** 大事なことであると思うが、今のところは考えていない。

**質問** 小学校にA・L・T（外国人英語指導助手）を導入しては。

**教育長** 今後の課題として考えたい。



▲安全基準の問題から天井板を撤去した体育館

**質問** 視察で行った札幌の付属小学校や京都の黄檗学園、神戸市でも小学校にA・L・Tが導入されていた。

我が町でも、もっと教育に資金を投入しては。

**町長** 教育予算の拡充により教育の質を向上させていくことは、本町の子ども達の健やかな成長に寄与するためには非常に重要である。

**質問** 人口減で、より知識が必要な社会になってきている。

基本的には、町づくり、人づくりをどのように進めていくかである。

教育に力を入れ、町単講師、A・L・Tの増員をお願いする。

**町長** 教育委員会と密に協議していく。

議していく。

### 体育館工事について

**質問** 夏季休業中に行う契約が、業者の都合で9月の始業式後にずれ込むというのを聞いたが。

**産業建設課長** 確かに業者のほうから工事期間延期の相談があったが、契約条件を守るよう指導し、無事、工事期間内に完成させた。

### 通学バスについて

**質問** 中学生（三尾地区）の下校時、定期バスの時間が合わず、クラブ活動に支障が出ている。

夏場だけでも町のバスを使えないか。

**教育長** 子どもたちが大変不便をかけているので前向きに検討する。



一般  
質問

質問

平均寿命より健康寿命！その対策は？

答 弁 受診率の向上、健康教室。  
生きがい対策の充実を。



鈴川 基次 議員

**質問** 平均寿命が延び続ける日本において、病気に悩まされずに日常生活が過ごせる期間を示す健康寿命が、最近重視されている。

最新のデータでは、平均寿命と健康寿命の差が男性で9年、女性で13年と長い。この健康でない期間を短縮することが、生活の豊かさ、または、医療費や介護費といった社会保障費の負担軽減にもつながる。

健康長寿社会の実現に向けて、町が取り組んでいる現状と今後の対策は？

**町長** 個人として、規則正しいバランスのとれた食事や適度な運動、社会参加が大切な要素である。

町として健康診断、各種検診を実施しているが、受診率が伸びていない。

今後も、受診率の向上に向けて、また「みはま健康教室」や「腰痛膝痛予防教室」、食育活動等も充実させ継続して取り組みたい。シルバー人材事業等の生きがい対策も重要と考える。



▲健美教室

広島土砂災害の教訓

**質問** 先日の広島市北部で発生した豪雨による土砂災害は、多くの人的被害をもたらす大災害となった。

市の対応を通して、今後町として教訓とすべき点は、町においても平成25年4月、三尾地区に土砂災害防止法に基づく「警戒区域」と「特別警戒区域」が指定された。

その防止法への取り組みと住民への周知の現状は。

**町長** 避難勧告・指示等の発令のタイミングは、空振りを恐れずに、住民の生命を守ることを第一に毅然とした対応が求められる。

三尾地区の基礎調査は完了し、現在、ハザードマップの作成に入っている。

マップの完成後、今年中に町内各戸に配布する。

和田地区の基礎調査の実施は県に検討してもらっている。



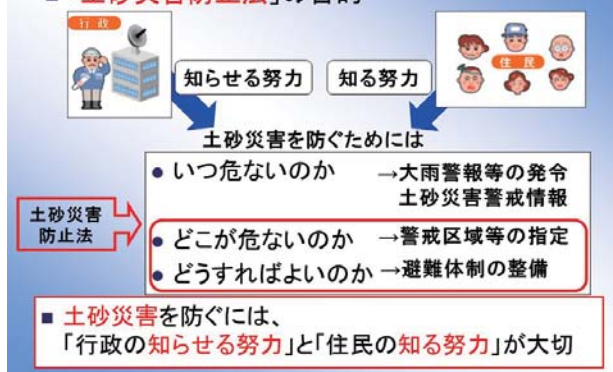
次期町長選への進退は

**質問** 先日、町選管より来春の町長・町議ダブル選挙の日程が発表された。

町民の関心事である現職町長の進退をお伺いする。

**町長** 課された私の任期を一生懸命取り組みさせていただくことが第一だと考える。その過程の中で、もうしばらく時間をいただきたい。

■「土砂災害防止法」の目的



質問

西川の治水対策は？

一般質問

答 弁 日高川を考える会で！



田淵 勝平 議員

**質問** 西川の治水は江戸時代から課題である。

どのように認識しているか？

**町長** 排水が重要だが、排水先である西川的大幅な改修が必要であると認識している。

**質問** その通りだが、そんなに簡単なものなのか。

聞くところによると、西川の整備計画を「日高川を考える会」で策定するそうだが、西川水系は西川水系で独立して考えるべきだと思う。

しかし、それならば「日高川を考える会」に、町の西川河川改修事業推進協議会の代表者も入るべきではないのか？

**町長** 県に、協議会の会長を委員に推薦したが人数も限られていると断られた。

**質問** 氾濫・冠水して、

困った、困ったと言いがら、具体的な計画が無いのは如何なものか。

以前、計画された国営パイロット事業規模の計画が必要であることを発言しておく。



▲冠水した不毛田

浜の瀬の浸食対策、日高港湾の第2期工事の有無で変わる。

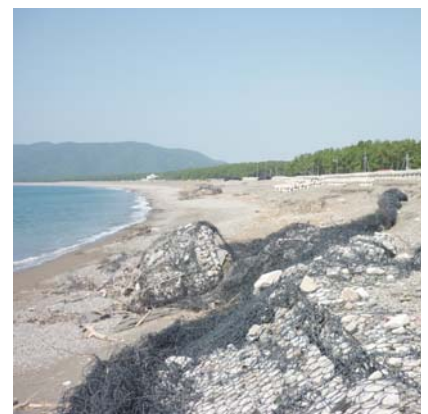
**質問** 港湾計画に第2期工事計画が残っているが、第1期工事の始まる前に、

「力二是甲羅に似せて穴を掘る」と「この港湾の第2期工事は存在しない」と言った先輩議員があられた。町長は、第2期工事は必要と考えるのか？

**町長** 本港の利用状況次第で、浜の瀬工区の第2期工事着手もあり得る。

**質問** この間の台風11号でも布団マットが壊れた。

以前から、浜の瀬海岸の浸食対策が何度も行なわれてきたが、有効な浸食対策が出来ていない。



▲何度も壊れた布団マット

この第2期工事計画があるかぎり思い切った浸食対策が取れない。

第2期工事が必要と判断するなら、港湾を作れば、浸食場所が西に移るかもしれないが、浜の瀬地区に浸食の憂いなくなる。

不必要と判断すれば、それなりに思い切った対策も可能。

いずれにしろ、この港湾計画をどのように取り組んでいくのかの判断をするべきではないか。

**町長** ここで第2期工事の判断を求められたら非常に困惑する。

今しばらくこの状態を見守っていかねばならぬ使命もあるように思う。



一般  
質問

## 質問

## 「空き家情報バンク制度」の創設は？

## 答 弁 現時点では考えていない。



中西 満寿美 議員

消滅する町に  
ならないために**質問** 空き家を地域の資源と捉え、空き家バンクを活用して定住促進を図っている自治体が多いがどうか。**町長** 現時点では考えていない。**質問** 日高川町、みなべ町等、地域資源を活かした町づくりを進めている自治体がある。**町長** こうした先進事例を学ぶことが大事ではないか。**町長** 他市町村の事例を参考に知識を深めたい。**質問** 人口減少の根本原因は若者の非正規雇用の増大、

長時間労働などブラック企業の横行など、日本社会の問題だ。

地方創生といいながら政府は道州制や中核都市化を進めようとしている。

消滅させられないため、町を挙げての取り組みが必要ではないか。

**町長** 町政懇談会とは別に機会があれば喜んで参加したい。

## 静岡県に学ぶ防災減災対策

**質問** 袋井市では達成時期を明示した長期計画を立て、住民に周知している。**町長** 本町は、こうした点が十分ではないか。**町長** 現在地域防災計画の改定を進めている。

この中で、防災対策推進計画を定め、これを長期計画に位置づけ達成に努めた

**質問** 減災のため住宅の耐震化が大事。

本町の耐震化率、補強工事を安くするため今年、静岡県で補助事業となった耐震シエルターについてどう考えるか。



▲袋井市の防災対策を聞く

**町長** 耐震化率48・5%、耐震診断は96件受け、85件が補強の必要があった。工事をしたのは7件。広報紙や地区説明会で普及を図る。

耐震シエルターは津波の浸水地域では脱出が困難と考える。

**質問** 社会福祉施設や学校関係者に防災士を広げていく必要があるのではないかと必要があるのではないかと。**町長** 町には町職員13名を含む35名の防災士がいる。資格取得に補助金も出しており利用してほしい。

## 救急医療情報キットの普及を

**質問** 救急隊員が駆けつけた時、いち早く情報を入手できるキットを全町に広げようかどうか。**町長** 自主防の会長会議で三尾区長から紹介してもらった。

▲救急医療情報キット

## 質問

松原小「里道」が町に移ると柵されへんか。

## 一般質問

答 弁 条例により、そのような心配はない。



谷口 昇 議員

松原小学校内の里道が消えたのはなぜか。昔からの図面を示して説明せよ

質問 前回の答弁で「確認されていない」「旧公図で確認されている」とはどちらが正しいのか。

町長 明治以来の図面を調査したのか。

町長 平成13年から平成17年までの調査で、確認していない。

質問 里道所有権が町へ移ると松原小が柵でもすると通れるのか。

町長 そのような心配はない。

質問 地籍調査で町民にもわかるような説明をしたのか。



▲里道、あるのか？ないのか？

町長 わかりやすく説明した。

質問 明治からの全図面を調べよ。地役権、その他等にも言及せよ。

町長 現況にないと言うが、松原小南側の幅3尺のコンクリート道路が現況である、これを見たか。何故か。

町長 閉鎖前の法務局の図面はない。

質問 前回と同じ答弁だ。昔からのすべての図面を調べよ。次回までの宿題だ。

## 文化財対策について問う

質問 文化財包蔵地の詳しい地図はないか。配布しないのか。

町長 周辺の文化財包蔵地所在地図をもとに対策したい。地図は2万5千分の1の縮尺でアバウトな状態。

質問 築山予定地は調査の必要はないか。

教育長 周辺は埋蔵の兆候があれば、調査すると県教委は返答している。

質問 名答弁だ、毎日見に行きましよう。出てきたら工事中止か。

## 町長が公用車で日高川町長選へ行く判例は

質問 判例を町民誰にでもわかるように説明せよ。

町長 行政例等もわかるように説明を。

町長 公用車で事務所開きに行ったのは公務だ。

町の顧問弁護士は全く同じ事例はないとのこと。

私の場合も公務と解釈。

質問 世田谷区長の件の判例をわかりやすく説明せよ。よく似た判例を参考にすると、尚更わかりやすく説明せよ。次の時まで宿題としておく。

読み聞かせボランティア内の差別事象と児童用絵本のわいせつ性。イデオロギー差別の事実確認を詳しく問う

質問 ボランティア内の差別事象については。

教育長 一致点を見出すに至らなかったのも一つの結論。

質問 児童用絵本のわいせつ性については。

教育長 わいせつ性はない。

質問 イデオロギー差別については。

町長 以上時間がなければ次の時まで宿題とする。

町長 外部に持ち出されるものではない。

資料の扱いに反省。

人権問題は重要な課題。





## 質問

あなたの施策の結果は？

# 答 弁 結果に結びついていない。



谷 進介 議員

**質問** 医療費無料化、出生祝金、いずれもはつきり人口施策と言ったが、結果はどうだったのか。

**町長** 人口は町政のバロメーターだが、結果に結びついていない。

**質問** 「感動のみはま」を分けるように。

**町長** 選挙でのフレーズで、感動して、笑い、元気をというような形。

**質問** やはり何か分からない。

では、防災施策に大きくかじを切った結果が、防災企画課の1名減員なのか。  
**町長** 無理を承知で1名減とした。



▲袋井市の湊命山

**質問** 視察をした静岡県袋井市や、個人的に訪問した吉田町では、東日本震災から約1年でハザードマップや避難計画を作成し、2年ほどで避難施設建設まで至っている。

この頃当町では、松林でヤギを飼うとか全く次元が違った。なぜこんなに差があるのか。

**町長** 補助というような形の中も勘案しながら、ハザードマップで、平成25年度中に作成した。

**質問** 論点が違う。  
美浜町に生まれたことが不幸なのか。

国や県の発表を待たなければ仕方ないのか。

ハザードマップ作成に何千万円掛るのか。

根本的に考え方が違うのではないのか。

**町長** 何もかも町単独で、できないと思っている。

**副町長** 何分、当町は財政に恵まれていない。

**質問** あなたがたの論理には、住民の生命、財産を守るといふものがない。

美浜町から出ていけと言っているに等しい。

もちろん、その指摘を当時できなかった我々にも責任はあると思うが。

では、県に陳情や要望は。

**町長** 危機管理の関係で、4回程度行っている。

**質問** この3年半の結果は、「願う」「期待する」「今後に生かされれば」と全く心もとなく、防災企画課の4名体制も全く住民ニーズに至らない。

しかも、県への陳情等も、たった4回では明らかに不十分だ。

更に、補助がないから何もでないという考え方は、住民を守る事に関して不十分で、何もしていないに等しい。

例にした1市1町とは、明らかに次元が違う。

これが貴方の一番の問題で、迅速な対応をと指摘して質問を終わる。



▲吉田町の歩道橋兼用避難タワー

# こんな質問がありました！



## 漂着ごみの処理

- Q 町単独でしなければならぬのか。
- A 地引き網漁を行う箇所は町ですが、残りは県で行う。
- Q 本ノ脇から三尾海岸のごみはどうするのか。
- A 重機を借り上げて三尾漁港を清掃するが、それ以外は予定がない。
- Q ごみは焼却処分できないのか。
- A 分別すれば可能だが、広範囲にわたっているので分別が困難である。

## 子ども子育て3条例

- Q 条例が提案された理由は。
- A 平成24年8月に子ども子育て支援制度に関する3法律が成立し、市町村が実施に向けて条例化することが必要となった。
- Q 子ども子育て新制度の主なポイントは何か。
- A ひまわりこども園のような幼保連携型認定こども園の認可、学童保育（放課後児童クラブ）の国レベルの設置基準、新たに設けた家庭的保育事業等である。
- Q 手引き等の作成は。作成に至っていない。
- A 本町の保育事業に影響があるのか。
- A 今のところ、影響はない。
- Q 今後のスケジュールは。
- A 子ども子育て会議に諮りながら、平成26年12月頃、美浜町子ども子育て支援事業計画案を作成し、パブリックコメントを提示、平成27年2月頃に計画策定が完了する。
- 4月に運用が開始する。

## 子育て支援交付金の返還

- Q いつ返還しなければならないのか。
- A 今年度中に、全額返還しなければならない。
- Q 子育てつどいの部屋の住民サービスに問題があったのか。
- A 過去最高の利用率であり、サービスの低下は考えられない。
- Q これについて、町長は何か行動したのか。
- A 教育委員会からの報告を受けたのみで、具体的な行動はしていない。
- Q 町長は何らかの行動をすべきでないのか。
- A 会計検査院より人員配置の不備が指摘され、どう

## 図書館寄附金

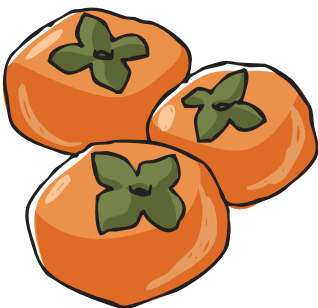
- Q 詳細は。
- A 故人の遺志により図書館の充実に使ってほしいとの趣旨で、136万1千円の寄附を受けた。

## 臨時福祉給付金

- Q 申請数は。
- A 約8割の方が申請を終えており、残り2割の方に再度通知している。



▲大量の漂着ごみ





## 財政力指数

Q 0・3を切った感想は。  
 A 自主財源の低下や人口減も原因の一つである。

Q 向上の展望は。

A 自主財源の町税を増やすため、農業ではキュウリが主要で収益アップを、漁業では魚価の低迷で苦労しているので、施設整備をしていきたい。

Q 商工会のミハマサミットにも参加し、積極的に取り組みたい。

Q 町税の内、一次産業の税収は1割程度とみられる。

A 例え、倍となっても、自主財源の増加が微々たるものだと分かっているのか。

Q . . .

A 当町の経済を育てること、何を考えているのか。残念ながら具体策はな

## 町税

Q 滞納繰り越し分の徴収率向上の原因は。

A 税回収機構で300万円程度回収している。

Q 差押えは、平成23年が7件、24年が12件、25年が21件である。

Q 不納欠損額は。

A 一昨年、547万円、昨年630万円、今年度は213万円と少なくなっている。

Q 町の滞納者への回収方法は。

A 督促状を出し、その後に催告状を数回出して差押え通告書を送り、最終的に差押えを行っている。

Q 時効は5年か。

A そうであるが、必要に応じ延長手続きもしている。

## ふるさと納税

Q 納税者の内容は。

A 当町出身者が2名、縁者が1名。

Q 納税者へのお礼は。

A 礼状と粗品を送っている。

Q 特産物を送ればPRになるのでは。

A 地域振興等を含め一理あるが、一度考えたい。

## 学校給食費

Q 滞納については。

A 累積で、269万円。

Q 滞納しているのは、どういった家庭か。

A 生活が困窮しているとは思えない家庭である。

Q 未納の対策方法は。

A 月1回徴収訪問をし、分割で収受している。

## 健康増進事業

Q 健康教室の結果や所感は。

A 平均20名程度で、及第点と考える。

Q 検診の受診率が低いのは。

A 個人受診も多いと思う。

Q 要精密検査率が低い。勧奨はしている。

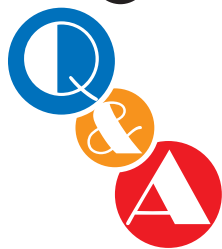
Q がん予防推進委員とは、どんな活動をしているのか。

A 健康づくり推進委員で、検診時の手伝いや啓発活動をしている。



▲ステップ教室の様子

こんな質問がありました！



# こんな質問がありました！



## ごみの分別収集

- Q 分別収集による経費節減等への取り組みは。
- A イベントや担当課、各種団体等、検討したい。
- Q 町長の意識があれば、住民課として取り組むのか。
- A 現状の施策を周知徹底したい。
- Q 町長の生ごみ処理推進の考えは。
- A 更に考えていきたい。
- Q 啓発が不十分ではないのか。
- A 広報みはまに写真入りの記事も掲載し、ホームページにも載せている。
- Q 生ごみアンケートより、問題点は。
- A これから勉強したい。
- Q コンポスト補助者の追跡調査は。
- A 行っていないが、アンケートを実施した。

## 防災井戸水質検査

- Q 内容は。
- A 平成23年度より10項目の水質検査をしている。
- Q 平成25年度は58件実施し、結果は所有者に通知している。

## 検査結果を自主防災会に通知しないのか。

- A 結果が「良」の井戸を、絞り込み通知したい。

## 地域防災計画

- Q 作成のタイムスケジュールは。
- A コンサルと契約し初期の打ち合わせが終わった段階で、今後、防災委員による防災会議を開き、来年2月末完成を目標としている。
- Q 防災委員の内訳は。
- A 災害発生直後に連絡を取り合う消防、警察、病院関係等である。
- Q 議会や住民の意見を聞かないのか。
- A 防災会議は2回開くが、住民等の意見を聞く機会はない。
- Q 計画策定にスピード感がないのでは。
- A 指摘は受け止め、しっかりとやっていく。

## 学力テスト

- Q 結果非公開について、どう考えているのか。

## 緊急通報システム

- A 可否両面があり、いろいろな可能性を勘案し非公開とした。
- Q 町長の「住民参画型町政」「開かれた町政運営」方針と齟齬があるのではないのか。
- A 学力テストの結果は、各々の学校で分析し、保護者への周知は必要と考えている。

## 予防接種

- Q システムの利用と配布状況は。
- A 申込者全員で、74台配布している。
- Q 予算の減額が大きいけど、どうしてか。
- A 子宮頸がんワクチンの副反応による接種者数低下が原因である。



▲ごみの分別



## 視察報告

## 港湾振興、自衛隊の活動

## 総務産業建設常任委員会

視察日

7月16日～18日

視察地

沖縄県

那覇港・中城湾港・普天間基地

目的

那覇港・中城湾港を視察し、両港の取り組みや、今後の港湾振興のあり方について学び、日高港湾振興に繋げる。

また、普天間基地を視察し、沖縄県の抱える基地負担の現状や、米海兵隊の我が国防衛における位置づけ、その必要性を理解する。

視察内容

那覇港

那覇港は県庁所在地に位置し、また沖縄県の海の玄関口だけあって、その規模やエリア毎の完成度は素晴らしいものがありました。

まず物流関係では、陸上及び国内海上輸送による農産物、工業製品を港湾内で加工・梱包し、国内外に輸送する基地としての役割を担っていると感じました。次に、人流の拡大を目的とした港湾整備としてのダイビングエリアや、海水浴

場の整備、空港からのアクセス道路の充実など、那覇港・那覇空港・そして那覇市街地が一体となって発展している様な雰囲気、特に印象的でした。

将来を見据えた事業展開は、今後の日高港湾を考える上で、大変参考になりました。

中城湾港

中城湾港は、沖縄県の中では中規模の自治体であるうるま市に位置し、第一印象として那覇港よりは日高港湾に近い印象を受けました。

港湾整備の進め方として、港湾内に企業団地を県が建設・賃貸を実施し県内の各企業に対し、誘致に努め、そこでできた製品をそのまま海上輸送することによる「物流コストの削減」を目指していました。

港湾内に企業が進出することにより、地元雇用が生まれ、若者の市外・県外への流出を防ぎ、地域の発展や活性化に繋がっていました。

普天間基地

「米軍・普天間基地」の第一印象は、その広大な規模に圧倒されました。

そして、意外なほど海兵隊員のフレンドリーな雰囲気に驚きました。

会議室での基地説明や、オスプレイの説明は、非常に丁寧にして頂き、より深く理解することが出来ました。

また、当町の自衛隊基地同様、地域とのコミュニケーション醸成にも力を注いでいて、テレビ・新聞等で見聞きすることとのギャップを感じました。

東日本大震災での「トモダチ作戦」を、米軍が遂行した意味を理解出来た気がします。

しました。

今後も「日米同盟」の発展のため、我々民間人に来ることを考え、行動して行きたいと思います。

視察後の総括

今後の日高港湾の発展を図るためには、県や御坊市との協議会を通じて、持続性のある、また確固たる将来設計を立て、県・市・町が一体となって、推進して行く事が重要との認識に至りました。

当委員会としましても、微力ながら、日高港湾の将来への提言や、意見を今後も続けていきたいと考えます。



▲那覇港

視察報告

# 小中学校連携・一貫教育

## 文教厚生常任委員会

**視察日** 7月24日～25日

**視察地**

京都府宇治市  
宇治黄檗（おつばく）学園  
兵庫県神戸市  
神戸市教育委員会

**目的**

小中連携・一貫校の教育内容及び施設について

**視察内容**  
**宇治黄檗学園**

宇治黄檗学園は施設一体型の小中一貫校であり、宇治市の進めるパイロット校の役割を担っている。

施設も充実しており、交流ホール、屋上プール、学童保育教室、通級指導教室等も完備している。

○特色ある教育活動

9年間を見通した教育を展開しており、前期（1年生～4年生）中期（5年生～7年生）後期（8年生～9年生）のまとまりによる指導で効果をあげている。

また、小中教員による相互連携授業、児童生徒の合同授業も充実している。

基礎基本の徹底を図る「いしずえ学習」で、内容を確実に定着させるとともに、保護者との連携をもとに家庭学習につなげ、学びの習慣を身につけさせる取り組みや宇治の歴史、文化などの地域素材をもとに体験学習「宇治学」にも力を入れている。

**神戸市の連携教育**

平成21年度より、全市立小中学校から公募のうえ、11の中学校区を「小中連携モデル地区」に指定し、「小中連携教育の推進」に取り組む。

○取り組み

・「小・中連携教育研究会」を組織し、小中共同で実践研究を行う

・義務教育9年間での学びの充実に向けて、「小中一貫カリキュラム」を策定

・中学校英語教員や外国人英語指導助手（ALT）による、小学校での継続的な英語活動の支援

・中学校の理科教員が小学校での理科実験等の授業を定期的に指導

・中学1年生の夏季補習授業（算数、数学）への小学校教員の協力

・9年間一貫した取り組みで中1ギャップの解消に取り組む

・退職教員を講師に採用（再任用含む）し、T2の形で学力アップと教師の指導力向上に役立てる

・教員の多忙化対策については、学校現場の見直し、教委からの報告書類の削減に努める

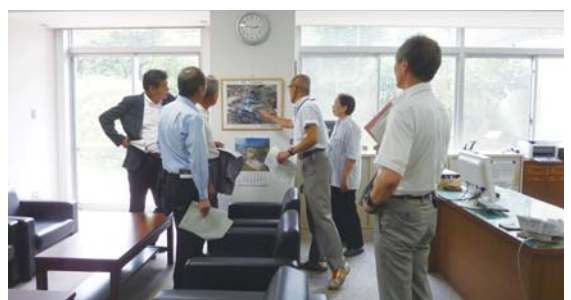
**結論、町への提言**

小学校2、中学校1の施設分離型の小中一貫教育校も可能であり、小学校高学年での英語や理科等の教科担当制を取り入れ、更に小中学校教員の交流や児童生徒の交流（例えば、運動会、総合学習、発表会等を通して）を盛んにする。

小中合同の研修や単講師を増員し、T・T授業に取り組む。

小学校の外国語教育充実のためのALTの採用も必要である。

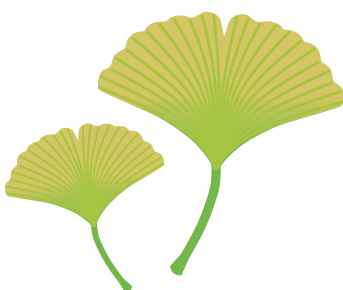
「教育は人なり」といわれる。これを推し進めよう



▲黄檗学園にて

とすれば、資金が必要である。基本的には、町づくり人づくりをどのようにすすめるかの問題である。

委員会として今後も調査研究をし、教育の充実発展に寄与していく。





視 察 報 告

# 防災・減災対策

## 地震・津波対策特別委員会

**視察日** 8月25日～26日

**視察地** 静岡県

袋井市・沼津市・県防災センター

**目 的**

- ①防災・減災対策及び「命山」について
- ②大型水門「びゅうお」について
- ③地震津波防災対策、啓発について

**視察内容**

**袋井市**

被害想定は、全域が震度7若しくは6強、津波避難対象地域は海拔5m以下。10分で津波到達、避難可能距離は500m、液状化危険度マップを作製。家具固定・家屋耐震化・ブロック塀等の耐震改修化を推進。

**湊命山現地視察**

○特徴的なこと  
・市独自の津波想定（河川堤防及び海岸砂丘は、地震発生と同時に破壊）  
・命山の高さ変更に関し、しっかりとした浸水深のシミュレーションや、流出建

物の衝突危険性の考慮等、根拠を示した広報活動、命山そのものが防災啓発活動となっている。

・津波避難タワー建設のスピード（検討から約1年）  
平成23年9月の合同津波避難訓練から課題を抽出。  
同年11月、その課題を踏まえ建設について検討を開始。

同年12月、約2000名から、市長あてに要望書を提出。

平成24年1月、建設場所決定。（地権者の理解）  
同年8月、工事開始。  
同年12月、完成。

・昭和56年5月以前の住宅の90%以上が、耐震化工事済み。

**沼津市**

沼津港航路水門で、幅40m、重量約410トン。総事業費約43億円。

津波対策への理解と観光施設。

**○特徴的なこと**

・「びゅうお」及び大型立体駐車場、「みなとオアシス沼津」「沼津みなと新鮮館」「沼津港深海水族館」等による経済効果は、入込客数の増加からも顕著である。



▲袋井市の命山

・東日本大震災後で、風評による人口移動が起こり（内陸部の藤枝市へ）、両市の人口に逆転が起きた。  
・市北部と南部で地政学的な違いから、津波対策に違いがある。

**防災センター**

静岡県全体の被害想定直下型地震の可能性、津波は数分で到達。

津波は、一人でも多く、1分1秒でも早く逃げる。  
家庭内D・I・G、地震がきてもわが家で暮らす方法。

**町への提言**

当町では、大規模災害特に南海トラフ巨大地震や、それに伴う津波に関して意識が、今回の視察地に比して低い感が否めず、我々議会や公共団体も含めた住民意識の基礎的素地を高める必要性を感じた。

例を挙げれば、独自に被害想定を作成、迅速な避難施設の建設、更には、昭和56年5月以前の住宅は、90%以上が耐震化工事済み等である。

# 煙樹ヶ浜 フェスティバル



## あなたの意見をお待ちしております

議会に対するご意見、あるいは「議会だより」を読  
んでの感想など、何でも結構です。あなたの声を議会  
事務局までお寄せください。

### 《連絡先》

美浜町議会 議会事務局  
TEL 23-5544 (FAX兼用)  
mail gikai@town.wakayama-mihama.lg.jp  
URL <http://www.naxnet.or.jp/~mihamachogikai/>



教育委員会委員

美浜町大字田井三八番地

宮本 真由美

人  
事